

昭和女大短大 ○岡野 都
 小ノ沢治子
 刑部 昭子
 金森 正江
 椎名 米子
 長谷川ミチ子

1. 第3報に続き、ワイシャツ類の場合、特に合成繊維は取扱い方法が簡単であるとされているが、木綿にない問題点もある。そこで購入したものをどのように取扱い、着用し、その結果をどのように認識しているかについての実情を知ることを目的とした。

2. ①調査時期・対象・部数は第3報と同じ。②取扱い説明について7項目、洗濯について11項目、着用感について2項目を抽出し、型(衿・袖)別、職業別にかけて考察を試み、さらにワイシャツ類についての希望事項および合成繊維のワイシャツ利用の感想を求めた。

3. 取扱い説明は、どの型もあったが多く、型によって多少の相違はあるが、内容は洗濯法が最も多く、次にアイロン、干し方、洗剤の順である。この説明を読み、活用した場合は、説明がなかった場合より、取扱い結果は満足が高率を示しているが、変色した・汚れがとれない・縫目がつれたなどの不満も生じている。洗濯はクリーニング店よりも自宅ですが高率である。洗濯項目、洗剤・洗濯法・漂白・糊・帯電防止剤・しぼり方・干し方・アイロンのうち、従来の木綿のワイシャツと著しく異なる点は糊つけアイロンの手数が省かれていること、干し方は陰干しで、しかも屋外が多い。着用感は、カラー・カフスの型くずれがしないのでよいが高率を示し、帯電性の不快さ、吸湿性の不足により夏あついなど、合成繊維独自の問類点も浮び出た。